

<昭和大学医学部 2017年度入学試験問題<英語解答速報>

1 <解答> (1) E (2) B (3) E (4) A (5) C

<解説>

- (1) Eは第一音節にアクセントがあるが、他は第2音節にある
- (2) Bは第一音節にアクセントがあるが、他は第2音節にある
- (3) Eは[ə] 他は[æ]
- (4) Aは[z] 他は[s]
- (5) Cは[e] 他は[i:]

2 <解答> (1) D (2) E (3) B (4) B (5) A (6) B (7) B (8) E (9) A (10) C

<解説>

- (1) in ←be of help to A : Aに役立つ
あなたの役に立ちたくここにいます
- (2) Whether ←() we will finish on time はSになり、「we will finish on time」は完全文
なので接続詞を選ぶ 内容的に Whether が適当
時間通りに終わるかどうかは第一に天気次第だ
- (3) what ←in what way : どういう点で
どういう点で私はあなたをいらいらさせているんですか
- (4) running ←with 名詞 (A) + α : 付帯状況の with 表現
私の妹は蛇口を開けっ放しにして皿を洗った
- (5) Of ←前半は句なので 「of ~ : ~のなかで」が適当
処理された 9,660 の訴訟のうち、10%だけが完全に却下された
- (6) with ←deal with : ~を扱う
倫理学は道徳的義務に関する問題を扱う
- (7) many ←many + more + 複数名詞 (many は副詞で、はるかに、ずっとの意)
フランクの同僚は彼よりもずっと多くの間違いをした
- (8) get over ←克服する
トムは東京の旅行で受けた頭の大けがを克服できると確信している
- (9) will have been infected ←be infected with : ~に感染している by the end of the
decade : 10年後にだから時制は「未来」→未来完了
10年後の終わりまでに、1千万人もの子供がそのウイルスに感染しているだろう

(10) call ←call A back : Aに電話をかけなおす have は使役動詞
彼は昼食に出ています あとで彼にコールバックさせましょうか

3 <解答>

- (1) あ : shortage い : growth
- (2) う : traffic え : an
- (3) お : much か : as ←so much as that ~ : ~ほどたくさん
- (4) き : be く : up け : with ←put up with : 我慢する
- (5) こ : evidence さ : cancer
- (6) し : theory
- (7) せ : mind
- (8) そ : before

4

[対話 1] <解答> (あ) : C (い) : A

男 1 : 失礼します

男 2 : はい、どうかしましたか

男 1 : このビルではタバコは吸えないことになってます 壁の禁煙の標示が見えませんか

男 2 : わかりました もっと注意すべきだった

[対話 2] <解答> (う) : E (え) : B

<解説> (う) E : Last but not the least : 申し遅れましたが

A : 実際 B : 結局 C : したがって D : それどころか

(え) B : I can't wait to ~ : ~するのを待ちきれない

女 1 : スペイン語をどのくらい学んでますか

女 2 : 10年くらいです

女 1 : それじゃ、スペイン語はペラペラに違いないわね

女 2 : そうですね、申し遅れましたが、今スペイン語で小説を書いています

女 1 : わー、私自身スペイン語の話し手としてあなたの小説を読むのを待ちきれない思いです

[対話3] <解答> (お) : B

<解説> (お) : B Good for you! : よかったじゃない; おめでとう; 偉いじゃない ←相手に良いことがあったとき、また相手がなにか良いことをしたときなどに用いる
A : どうしてしないの →したら C : もちろん E : 君にそんなことができる
がない

女1 : こんにちはジェーン 婚約したのを伝えるためにちょっと電話したの

女2 : よかったじゃない 結婚式はいつ?

女1 : ボブと私は3月3日に結婚式を挙げようと予定しているの あなたが来られるといい
んだけど

女2 : もちろんよ 喜んでいくわ

5 (1) <解答> (あ) D (い) B (う) C

<解説> (あ) : D. what ←the value of the thing / she calls the thing therapeutic
knitting the value of the thing which she calls therapeutic knitting
←the thing which = what

(い) : B. whom ← , and most of them were cognitively normal, and ... them
= whom

(う) : C. Given ←Given (that) ~ : ~を考慮すると

(2) <解答> 彼女は脳が一度に非常に多くのものを処理することができると示唆した

<解説> just so much : 非常に多くのもの / at once : 同時に、一度に

(3) <解答> E : ある期間、何か悪いことが人に影響することを妨げること

<解説> ←starve off : しのぐ

A. : 何かの良い資質、価値、地位がさらに向上することを増すこと

B. : 同じレベル、基準で物ごとを続けさせること

C. 何かが起こったり、発達するのを助けること

D. 数や量が急速に増加すること

(4) <解答> C, E, F

<解説>

- A. 著者は最初喜んで編み物グループに参加した ←第1段落第2文に My reluctant response : 「気がすすまない返事」とある →×
- B. 著者は10代のころに編み物を独学で学んだ ←第2段落第1文に mother taught me とある→×
- C. 本文によれば、繰り返し針仕事をするのがストレスを減らすという事実は心臓の速度や血圧、血液中のコルチゾルのレベルを下げる ←4段落第3文にある →○
- D. 未熟児の娘が新生児緊急治療室にいる間に編み物を始めた父親は今や編み物をやめた ←第5段落第3文に It's a hobby that I've stuck with とあり、まだ続けていることがわかる →×
- E. ベットサン・コルクヒルによれば、臨床的にうつ病の患者の半分以上が編み物が前向きに影響した ←第7段落第2文に knitting made them feel happy or very happy とある →○
- F. Dr. Y の研究によると編み物やかぎ針編みのような仕事に従事する人たちは軽い認知障害や記憶喪失になる可能性が少なかった ←第8段落第1文に starve off a decline in brain function (脳の機能の低下をしのご) とある →○
- G. Dr. Y 率いる研究者たちは編み物やかぎ針編み物ばかりでなく、読書したり、楽器を演奏したりすることも認知の健全さを維持するのに役立つ脳の神経経路を発達させるのを促進すると推測している ←第9段落第1文に読書や楽器演奏は効果を示さないとある →×
- H. 2014年のパークによる研究は Dr. Y による研究の結果とくらべて矛盾した結果を生んだ ←第10段落第1文に 「その示唆を支持してとある」 →×